

春をおもう

— 東洋と西洋、それぞれの春 —



伊東深水《春雪》1965(昭和40)年頃

同時開催 その時代を解き明かす戦国文書を初公開

下田の古刹 — 太梅寺の寺宝

伊豆最古の禅語録や戦国文書、南北朝時代の仏像など



《地蔵菩薩坐像》南北朝時代 太梅寺蔵
《吉田泰盛寺領寄進状》1567(永禄10)年 太梅寺蔵 下田市指定文化財

2018年

12月15日(土)

2019年

3月31日(日)

会期中
無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料

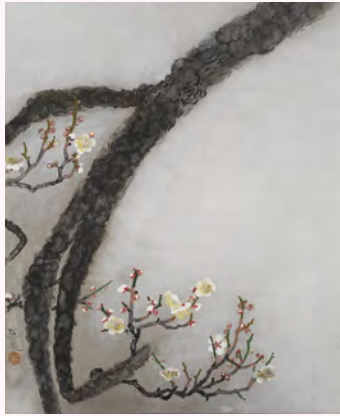
* 仏教館・近代館共通券です * 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい



上原美術館

Uehara Museum of Art



小倉遊亀《梅》1962(昭和37)年



カミーユ・ピサロ《エラニーの牧場》1885年

近代館 春をおもう —東洋と西洋、それぞれの春—

冷たい冬のさなか、慎ましやかに梅が花開くと、雪に覆われた静寂な世界から、しだいに色彩が広がり、活気あふれる豊かな季節へと変化していきます。春へと季節が移りゆくさまを、画家たちは細やかにみつめ、多くの絵画に描いてきました。春のひとつときが切り抜かれた情景には、画家たちそれぞれが抱く春へのおもいを感じることができます。

本展では上原コレクションより、横山大観、小林古徑ら日本画家を中心に、印象派の画家たちや岡鹿之助らが描いた春の気配を感じる作品をご紹介します。東洋と西洋の絵画に隠された春の予感をお楽しみいただければ幸いです。



《寂用英順図》1885(安政2)年
紙本着色 太梅寺蔵

仏教館 下田の古刹 —太梅寺の寺宝—

太梅寺は下田の山間に建つ歴史の古い寺院。平安時代に草庵が結ばれ、のちに曹洞宗の寺院として発展してきたと伝えられます。太梅寺には、戦国時代頃に書かれた伊豆最古の禅語録『寂用禅師語録』や、下田の地が戦国時代に戦場だったことを物語る「安国寺恵瓊奉制札」など、下田の歴史を知る上でも貴重な資料が遺されています。本展では、古文書のほか、南北朝時代に造られた地蔵菩薩坐像や、幕末に描かれた涅槃図などから、下田の歴史の一端を解き明かしていきます。

仏教館・近代館 関連イベント

学芸員によるギャラリートーク(作品解説)

日時 会期中の毎月第3土曜日 11:00~/
14:00~(仏教館・近代館、各30分ずつ)

会場 上原美術館 ※要入館券

親子でたのしむアートトーク(絵画鑑賞)

日時 2019年1月13日(日)、2月10日(日)、
3月10日(日) 13:00~(20分程度)

会場 上原美術館 近代館

対象 未就学児~中学生とその保護者
※保護者は要入館券

内容 美術館の学芸員とお話ししながら
展示室で作品を鑑賞します。



- お車で 東名高速道路 沼津ICより
下田方面へ 1時間40分
- 鉄道・バスで 東京駅より特急踊り子号
2時間40分 伊豆急下田駅下車
同駅より堂ヶ島方面行バス 20分
相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp